

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 令和 5 年 5 月 10 日 和歌山市長 様 提出者 〒641-0036 住 所 和歌山市西浜1057-11 氏 名 (株)青木工業所 代表取締役 青木 保誠 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 073-444-1337 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)青木工業所
事業場の所在地	和歌山市西浜1057-11
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	元請負完成工事高 450,000千円
③ 従業員数	12名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類、金属くず＝処分業者に委託し再生利用 廃プラ、その他＝処分業者に委託し再生利用又は最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

管理責任者 (代表取締役) →各工事等の契約、その他の事項についての承認又は決定を行う。

工務部責任者 (工務部長) →各現場の実施状況の監視、完成工事の各種資料の保管
社内計画の策定と実施状況の管理を行う。

各工事現場 (現場責任者) →個々の現場における計画の立案と実施を行う。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和4年度) 実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	金属くず	木くず	廃プラ
	排出量	1393.23 t	11.32 t	2.45 t	1.23 t	0.61 t
	(これまでに実施した取組) ・計画及び実施の各段階において、排出の抑制と適正処理に取組む。					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	金属くず	木くず	廃プラ
	排出量	1300 t	11 t	2.0 t	1.0 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組) 排出量については、工事の受注状況により異なるが、それまでの傾向と実績から推測し計画を立てる。 優良認定処理業者への処理委託に努める。 取組みについては、これまでの取組みを継続して実施する。					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラ、木くず、金属くず、汚泥その他を分別し減量化に取組む。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでの取り組みを継続して行く

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組) 実績なし						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) 予定なし						

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 実績なし					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	金属くず	木くず	廃プラ
	全処理委託量	1393.23t	11.32 t	2.45	1.23	0.61
	優良認定処理業者への処理委託量	584.48 t	11.32 t	0 t	1.23	0.61
	再生利用業者への処理委託量	1393.23 t	11.32	2.45	1.23	0.61
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・委託基準にそって業者を選定し、書面による契約を交し適切に処理を行う。 ・処分場の現地確認を定期的に行う。 ・優良認定処理業者への処理委託に努める。 					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	金属くず	木くず	廃プラ
	全処理委託量	1300 t	11 t	2.0 t	1.0 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	650 t	11 t	2.0 t	1.0 t	0.5 t
	再生利用業者への 処理委託量	1300 t	11 t	2.0 t	1.0 t	0.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>これまで実施している取組みを継続し適正な産業廃棄物の処理に努める。</p>					
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が6以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。